

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、研究計画や実施内容の情報を研究対象者等が容易に知り得る状態に置くことにより実施しております。

この研究の参加に同意いただけない場合又はこの研究に対する問い合わせは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### 記

|          |  |
|----------|--|
| 【受付番号】   | 【04 - 003】   |
| 研究課題名    | 腹臥位療法が困難であった新型コロナウイルス感染症患者の特徴と要因の抽出  |
| 研究の意義・目的 | <p>腹臥位療法は、酸素化の維持・改善、下側肺障害の予防を目的に、うつぶせ姿勢を継続するもので、肺炎像のある新型コロナウイルス感染症患者の呼吸状態改善に有効とされています。</p> <p>しかし、腹臥位を保持することは呼吸状態の改善に有効とされている一方で、様々な苦痛を伴う姿勢でもあるため、腹臥位療法を継続することが困難な症例がありました。肥満に伴う腹部圧迫、胸部圧迫、発熱や呼吸器症状に伴う倦怠感・咳嗽、腰痛や肩関節痛等が要因と推察されます。</p> <p>本研究の目的は、新型コロナウイルス感染症患者に対する覚醒下での腹臥位療法が患者に与える苦痛の具体的内容を明らかにし、その軽減を図ることにあります。また、患者に腹臥位療法を促す際の観察項目や援助方法を検討し、腹臥位療法の継続につなげることにあります。</p> <p>研究の目的は、新型コロナウイルス感染症患者のうち、腹臥位療法が困難であった患者の特徴と要因を明らかにすることです。</p> |

|          |   |
|----------|---|
| 実施期間（西暦） | 承認日～2023年3月（後ろ向き研究）   |
| 研究の対象    | 2021年4月1日～2021年9月30日までの間で新型コロナウイルス感染症と診断され、当院に入院となり高流量鼻カヌラ酸素療法（以下 HFNC とする）を受けた方  |
| 研究の方法    | 調査項目：患者の属性（年齢・性別・BMI・既往歴）、発症から入院までの期間、入院期間、転帰、酸素投与期間、HFNC 使用期間、FiO2、バイタルサイン・身体症状、患者の腹臥位療法に関する発言<br>実施方法：研究実施者が医療情報システムより上記各データの収集を実施します。本研究は後ろ向き臨床研究であり、すでに取得された診療情報のみを用いた研究です。患者個人に対しての直接的なご負担はありません。  |
| 個人情報の取扱い | 本研究で知り得た情報は、プライバシー及び個人情報を保護するため、個人名・患者 ID は削除し、氏名とは異なる記号を付けて個人を特定できないよう厳重に管理いたします。また、本研究以外に用いることは一切いたしません。なお、本研究の内容や方法についていつでも研究者に質問することができ、診療情報の使用を拒否していただくことも可能です。（具体的には下記、お問い合わせ先へ電話いただき、診療情報の使用を拒否する旨を伝えていただければ、研究対象から除外いたします。）研究結果は、学会で発表させていただく可能性がありますが、発表に関しては個人が特定できないように調査結果をデータ化させていただきます。 |
| 研究機関代表者  | 自衛隊中央病院長  |
| お問い合わせ先  | 自衛隊中央病院<br>所 属：看護部第2看護課8西病棟<br>担 当：中馬 愛果<br>TEL：03-3411-0151（代表）内線：6781   |